

よしみ 議会だより

2012
第127号
吉見町議会
2月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



目標に向かって前進! (吉見町成人式 平成24年1月8日 フレサよしみ)

12月定例議会

3月定例議会

2月28日(火)から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 巡回バスの利用料を免除 …P 2 ~ 3
- 一般質問に8人登壇 …P 4 ~ 8
- 請願、意見書 …P 8 ~ 9
- 一部事務組合報告 …P 9
- 視察研修報告 …P 10 ~ 11
- 議会日誌、編集後記 …P 12

12月定例議会

— 吉見町巡回バス運行に関する条例の一部を改正する条例を可決 —

平成24年4月1日から

障害者の福祉の増進を図るため、 巡回バスの利用料を免除

12月定例議会は、11月30日から12月2日までの3日間の会期で行われました。
今定例議会は、町長から提出された条例の改正・補正予算など7議案と議員提出議案2件の審議が行われ、すべて可決されました。
一般質問については、8人の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。
また、請願3件は、教育福祉常任委員会に付託され、審査することになりました。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	審議結果
議案第67号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第68号	彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第69号	吉見町税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第70号	吉見町巡回バス運行に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第71号	町道路線の廃止について	原案可決
議案第72号	平成23年度吉見町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第73号	平成23年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決

議員提出議案

発議番号	件 名	審議結果
発議第2号	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書(案)の提出について	原案可決
発議第3号	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書(案)の提出について	原案可決

主な議案の内容

■議案第67号

埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

－内容－

- 埼玉県後期高齢者医療広域連合から鳩ヶ谷市が、川口市との合併に伴い脱退をするものです。

■議案第68号

彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

－内容－

- 彩の国さいたま人づくり広域連合から鳩ヶ谷市が、川口市との合併に伴い脱退をするものです。

■議案第69号

吉見町税条例等の一部を改正する条例

－主な改正事項－

- ①寄附金の税額控除関係(町民税)
 - ・寄附金税額控除の適用下限額を5千円から2千円に引き下げ
 - ・適用対象に認定特定非営利活動法人に対する寄附金を追加
- ②事業所得に係る課税の特例関係(町民税)
 - ・肉用牛の売却の事業所得に係る課税の特例の適用期限を平成27年度まで延長
- ③不申告に関する過料関係
 - ・申告書等不提出に関する過料を3万円以下から10万円以下に引き上げ
- ④上場株式等の配当所得及び譲渡所得等の軽減税率の特例関係(町民税)
 - ・上場株式等の配当所得及び譲渡所得等に対する1.8%の軽減税率の特例を平成25年12月31日までの2年延長
- ⑤非課税口座内上場株式等の譲渡に係る所得計算の特例関係(町民税)
 - ・非課税口座内上場株式等の譲渡に係る所得計算の特例の施行日を平成27年1月1日とし、2年延長

■議案第70号

吉見町巡回バス運行に関する条例の一部を改正する条例

－改正事項－

- 障害者の福祉の増進を図るため、巡回バスの利用料を免除するものです。
- 平成24年4月1日から施行

【対象者】

- ・身体障害者手帳の交付を受けている方
- ・療育手帳の交付を受けている方
- ・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
- ・同伴の介護者1人の方



巡回バス

■議案第72号

平成23年度吉見町一般会計補正予算(第5号)

既定の予算額に歳入歳出それぞれ4,694万円を追加し、予算の総額を62億5,825万3千円とするものです。

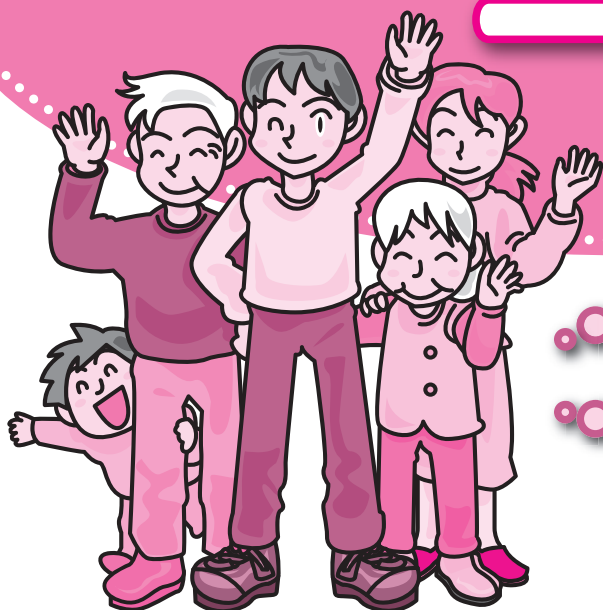
－主な歳入として－

- ◎地方特例交付金(児童手当及び子ども手当特例交付金) 382万6千円
 - ◎身体障害者更生医療給付費負担金 176万円
 - ◎障害者自立支援給付費負担金(国) 1,692万7千円
 - ◎地域生活支援事業費補助金(国) 250万6千円
 - ◎子ども手当準備事業費補助金 178万5千円
 - ◎障害者自立支援給付費負担金(県) 846万3千円
 - ◎地域生活支援事業費補助金(県) 125万3千円
 - ◎子宮頸がん等ワクチン接種促進臨時基金事業補助金 295万4千円
 - ◎財政調整基金繰入金 △103万2千円
 - ◎再商品化合理化拠出金 506万1千円
- などがあります。

－主な歳出として－

- 人件費関係 △960万7千円
 - 道路照明灯、カーブミラー、区画線の修繕料 174万2千円
 - 身体障害者更正医療給付費 352万円
 - 障害者自立支援給付費 3,385万4千円
 - 地域生活支援給付費 501万2千円
 - 人間ドック受診者補助金 12万5千円
 - こども医療費給付金 300万円
 - 予防接種委託料 759万8千円
 - 放射線測定器購入費 65万1千円
 - 側溝整備工事 550万円
 - 舗装修繕工事 190万円
 - 生徒選手派遣費 94万6千円
 - 私立幼稚園就園奨励費補助金 140万5千円
- などがあります。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

放射線から町民を守る 取り組みについて

» 日本共産党 奥村 栄昭 議員

問 学校給食の食材の放射性物質測定器の購入、サンプリング調査などを実施する自治体が増えているが、吉見町ではどのように考えているか伺いたい。

答 放射線規制値を超えた食材は、市場に流通していないものと考えており、町単独での放射線測定は、現時点では予定していない。

問 放射線測定について町民からの要望があった場合に、どのように対応していくのか。

答 今議会の一般会計補正予算で放射線の測定器の購入をお願いしており、購入が認められた場合には有効的に活用していきたい。

問 公共工事の品質確保について。

よしみけやき保育所の落成式で現地見学した時に少々、指摘すべき工事箇所が見受けられたが検査内容について伺いたい。

答 工事検査規則に基づき、町長から任命を受けた

15名の検査員の中から選任し、検査を実施している。検査内容は、材料、断面寸法、施工全般、電気・機械設備施工全般などの検査を実施している。

問 よしみけやき保育所の建築関係の車輛は、他県ナンバーの車輛が多かった。町内の業者は畳屋さんのみだが、町内の業者が工事すればもっと精密な工事できたのではないか。

答 大きな建築工事のため、指名委員会で対応できる大手業者を指名し入札を実施し、入札結果により契約をして施工している。



町で購入した放射線測定器

水利と歴史について

» 神田 隆 議員

問 町の水利については河川、地下水があり、さまざまな権利や法律、条例等がありますが、河川や地下水採取の規制及び利用についてお聞きしたい。

答 農業用水の利用の権利につきましては、慣行水利権と許可水利権があります。河川に係る慣行水利権は、明治29年の河川法制定にあたり、水利使用慣行が河川法上の権利として位置付けられています。また、昭和39年の新河川法（現行）の制定にあたりましても、許可を受けたものとみなされています。地下水を農業用として利用する場合、取水位置（ストレーナー）が30mより浅い揚水施設につきましては、許可・届出ともに必要がありません。

問 市野川河川の諏訪堰改修計画をお聞きしたい。

答 東松山県土整備事務所の河川改修計画によると川の断面が現在の約20mから約40mに拡幅されること、河床が現在の高さより約1.8m低くなる計画であ

り、現在の堰の場所では、自然流下による取水ができなくなることから現在の堰より980m上流の位置に移ることになります。堰の形状は、ゴム堰（ラバーダム）となる予定です。工事につきまして現在、調査等を実施しているとのことでした。



諏訪堰

問 歴史ある煉瓦造の樋門、また永府門樋の保存と維持管理についてお聞きしたい。

答 煉瓦造の樋門は、明治から大正にかけて築造されたものですが、近年の開発等により樋門が取り壊される中、箱型で2連構造という珍しい形式の樋門は、埼玉県では永府門樋のみ残されている状況です。平成18年に町の指定文化財としております。今後も適切な維持管理及び保護に努めてまいります。

答 学校ではPTAと相談し善処したい。

問 警視庁の交通局長がインタビューで自転車は車との認識を持ってもらうことが目的で、スピードを出す人以外は歩道通行でかまわないと言っているが町の指導はどうか。

答 歩道がある道路については、歩道通行を歩行者の安全を確保しながら通行するように指導する。

問 高齢で自動車運転に自信がなくなった方のため、交通事故をおこさないよう運転免許自主返納を勧め、かわりに運転経歴証明書の発行を補助できないか。また、返納した方の足を確保する電動アシスト自転車購入補助金制度の創設をする考えは。

答 町の交通安全のためにも調査研究していく。

問 運転免許自主返納者に費用もかからない支援策として、町巡回バスを無料にすることは。

答 高齢者福祉と町の交通安全の観点から研究していく。

問 買物弱者支援として町では、高齢者と地域のつながり再生事業補助金を活用した諸施策の内容は。

答 商工会あるいはサポーターと協力して支援し、わずかでも（仮称）地域通貨券で支払うことを考えている。

吉見町での高齢者支援を充実したい

» 小林 周三 議員

問 自転車走行で身を守ることは当然だが、加害者にならないための指導は。

答 警察や自動車学校で、老人会を対象に講習会を開催し指導していく。



交通安全高齢者自転車大会

問 自転車には自賠責保険がない、加害者に裁判でも高額を支払命令がでている今日、自転車の安全確保のためTSマークの補助金交付を。

国民健康保険税のしくみについて

荻野 勇 議員

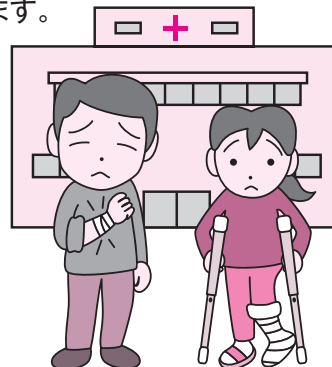
問 県内の医療分の賦課方式で2方式を採用している自治体の多くは平成20年前後に改正した所が多く、4方式を採用している所でも資産割を30%前後に税率を下けている所が増加しています。県内の状況を考えると今後2方式を採用したり、資産割の税率を下げる傾向が強まると思うが町の考えは。

答 県内市町村の資産割の税率の平均は、平成21年度が29.09%、平成22年度が29.01%、平成23年度が28.51%となっております。県内の状況は、資産割の率を引き下げる傾向となっております。今後、このような状況を勘案しながら公平性、平等性も考慮し、賦課割合のバランスをとる賦課方式の研究、検討が必要であると考えます。

問 都道府県が策定する広域化等支援方針に基づく、保険税の賦課方式の統一とはどのようなことか。

答 県内どこに住んでいても同じ所得なら同じ保険

税となることを実現するため、県内各市町村、国民健康保険間で異なる賦課方式を一本化することが検討されております。



問 平成23年7月19日の大雨で町内8か所で道路が冠水、幹線排水路までの小排水路流末の流れが悪かったのが原因と考えられます。今回は点検する余裕がなかったと思うが、今後の大雨時、どこが原因で雨水の流れが悪いのか、しっかり検証し、できる対策を実施し、改善を図っていただきたいが。

答 町だけでなく土地改良区も含めて現場を見させていただき、どこに問題があるのか、どういうふうにしたら改善できるのか、協議して対策を講じてまいりたいと考えます。

吉見町の体育・スポーツの取り組みと今後の課題は

尾崎 豊 議員

問 スポーツへの取り組みと町のイメージづくりは。

答 今後も町民憲章の「スポーツを愛し、心身を鍛え、明るい町にしよう」の理念に基づき取り組みます。

問 体育行事、体育祭、運動会の日程について。

答 各学校・体育協会などと調整を図り年間行事を定め実施しておりますが、近年の残暑の中での事業は、検討を必要とするものと考えています。



昨年の町民体育祭のむかで競走

問 週1回のスポーツ活動の推進を。

答 町では、「町民ひとり、1スポーツ」を推進しています。今後もスポーツを楽しむ環境づくりに取り組んでいきます。

問 出生率向上対策について。

答 町では、次世代育成支援行動計画を策定し、各種施策を総合的に推進しています。

問 出生による助成制度の検討を。

答 安心して子どもを産み育てるための支援をしておりますが、今後も多方面からできる支援をしていきます。

問 町の巡回バスの運行状況について。

答 交通弱者にとっては大切な交通手段です。若干利用者も増えてきています。今後も安全性を重視し、利便性の向上に努めていきます。

問 吉見八景、吉見を語ろう12選を生かした取り組みは。

答 写真展を実施し、ポストカードを作成しています。

問 町の農産物を生かした活性化の検討を。

答 農産物のPRをはじめ、ブランド化、加工品への取り組みや消費者との交流、また体験型農園等が今後の方策であると考えます。

子宮頸がん検診・放射能測定・バス停ベンチ設置

» 公明党 秋山 真美 議員

問 子宮頸がん検診の精度向上のために、HPV-DNA検査導入と助成について伺います。

答 現在は、対象集団全体の死亡率を下げる住民検診型に適した検査方法として、子宮頸部擦過細胞診を実施しています。HPV-DNA検査の有効性が期待されていることから、今後の調査・研究を見守りたい。



特定健診の様子

重度心身障がい者支援について

» 公明党 安孫子 和子 議員

問 重度心身障がい者の方は、常にだれかの支援が必要で、日々の生活の中でもご苦労が多い。手続き軽減のため、15歳で区切ることなく重度心身障がい者医療費の窓口払い廃止を求めます。見解は。

答 現行の手続きをお願いしてまいります。

問 ひとり親家庭等の医療費は所得制限があるとともに一定の自己負担金があります。特に母子家庭は



問 町内空間放射線測定の場所について伺います。

答 平成23年11月7・8日に、第6回目測定が13施設で行われており、12月以降は、施設内の側溝や雨どい下等も合わせて測定を継続し、公表します。現在、測定を行っていない公の場所、通学路、公園等も実施します。私有地の測定については、測定器の購入予定もあり、検討します。

問 空間放射線の低減化(除染)について伺います。

答 国や県が示した対応基準に沿って、汚染箇所の低減化に取り組みます。また、除染を行った場合は、保存文書として残します。

問 放射能に対する正しい知識の普及について伺います。

答 町広報紙やホームページを通して、情報提供していきます。小・中学校では、文部科学省の放射能副読本を全児童・生徒に配布し、授業の中で指導を行います。

問 吉見町巡回バスのバス停へのベンチ設置について伺います。

答 安全性、公平性、運行上の問題等がありますが、利用者の方への利便性の向上に努めていきます。

経済的に恵まれているとは言い難い。負担軽減のため、医療費の窓口払い廃止を求めます。見解は。

答 ひとり親家庭等医療費の助成対象者のうち、中学3年生までの児童・生徒は子ども医療費の対象としていますので、現行の手続きをお願いしたい。

問 成人用肺炎球菌ワクチンの公費助成の見解は。

答 平成23年度埼玉県後期高齢者医療制度における長寿・健康増進事業補助金の交付対象事業に「肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成事業」が加えられたことから、実施体制、助成内容、財源の確保などについて、検討してまいります。

問 音声読み取り機「よむべい」は、コピー機のようにガラス面に用紙や本を置くと音声に変換してくれる機械です。視覚障がい者の生活の質の向上のために、日常生活用具の給付対象にする考えは。

答 町の要綱には具体的な物品の記載はありませんが、給付対象ですので、情報提供に努めます。

問 平成21年度の国の補正予算で、学校ICT化は大きく進みましたが、当町の校務用パソコンの充足率は低いと思います。LAN整備も含め、計画は。

答 平成24年度事業として、財政担当課と細部の調整を進め、整備に取り組んでまいります。

第5期の介護保険料について

≫ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 平成24年4月からの第5期介護保険料の改定では、吉見町の保険料算定はどうなるのか伺いたい。

答 65歳以上の第1号被保険者の負担割合が、現在の20%から21%に引き上げられることが決定している。また、介護報酬の改定も見直しが進められており、改定内容によっては介護保険料に新たな負担が上乘せされることになる。

問 議会初日後の議員全員協議会の中で、第5期の保険料の見込み額は基準額で月776円、20%の増額になるとの試算が示された。

厚生労働省は、保険料上昇の緩和措置として、県の財政安定化基金と町の介護保険準備基金を取り崩して活用するよう求めているが、それぞれいくらあるのか伺いたい。

答 県に財政安定化基金として積み立てをしている町の拠出金は1,084万942円。このうち取り崩し可能額は439万4,080円。町の介護保険準備基金は

9,469万7,206円となっている。

問 財政安定化基金も準備基金も原資は65歳以上の方が収めた保険料であり、計画見直しの際には100%取り崩して保険料の軽減に充てるべきである。今、見直しが進められている介護報酬の改定分は、町の一般会計から繰り入れをして対応するべきでないか。

答 一定の負担額が想定されるため、枠配分予算の中で行おうとすればやはり特別会計の運営を圧迫することになる。一般会計からの支出を強いられた場合は、別枠での予算編成というふうを考えている。

この他、介護保険関係2件、奨学金制度の創設、よしみけやき保育所関係3件の質問を行いました。



■ 請 願

請願第1号 件名:国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善をもとめる請願

請願第2号 件名:年金受給資格期間を10年へ短縮することを求める請願

請願第3号 件名:無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める請願

※この3件の請願は、教育福祉常任委員会に付託され、審査することになりました。

発議について

議員提出議案として、2件の意見書提出について審議が行われ、可決し、関係機関に送付しました。

■ 発 議

○国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

意見書概略:安心社会を構築するため、医療や介護の充実、子育て支援の強化などに対する各種基金制度が設けられ、地方自治体における迅速かつ柔軟な取り組みに対して支援が行われてきました。しかし、こうした基金事業の多くが今年度限りで終了します。

特に、次に掲げる基金については、多くの関係者から事業継続を求める声が上がっております。国民生活の安心と向上を図る上からも、こうした基金および基金事業を継続するよう、政府に強

く求めます。

- 一、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金
- 一、安心子ども基金、および妊婦健康診査支援基金
- 一、介護職員処遇改善等臨時特例基金
- 一、障害者自立支援対策緊急臨時特例基金
- 一、地域自殺者対策緊急強化基金

意見書提出先=内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣

一 部 事 務 組 合 報 告

埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 荻野 勇 議員

期日 平成23年10月20日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から神田隆議員、杉田しのぶ議員、内野正美議員、荻野勇の4名が出席いたしました。

平成23年4月から9月までの管内ごみ処理量は、可燃ごみと粗大ごみ合せて、19,583.05トンであり、前年同期と比較して、68.8トンの減であります。ほかに小川地区衛生組合から751.4トンの可燃ごみを受託しております。

次に第2期大間処分場につきましては、フロートバイオンシステムが順調に稼働しておりBODの数値は良好な結果となっております。しかしながら原水のPHが高いことから希硫酸による中和を行っております。今後も県の担当部局の指導を受けながら早期廃止に向け、努力していくとのことであります。上程されました議案は5議案です。

酸による中和を行っております。今後も県の担当部局の指導を受けながら早期廃止に向け、努力していくとのことであります。上程されました議案は5議案です。

- 議案第5号 専決処分の承認を求めることについて
- 議案第6号 埼玉中部環境保全組合個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 議案第7号 埼玉中部環境保全組合情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例
- 議案第8号 平成23年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)
- 議案第9号 平成22年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について

以上、上程されました5議案は、慎重審議の結果、原案のとおり承認、可決、認定されました。

北本地区衛生組合議会定例会

» 小林 周三 議員

期日 平成23年11月1日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町から岩崎勤議員、安孫子の子議員、小林周三の3名が出席いたしました。

町の平成23年1月から9月末までの搬入量は、4,521.84キロリットルで前年より6.63%の増です。平成24年度負担金は平成23年度と比較し、31万1千円減額の5,867万5千円と試算されました。

上程されました議案は5議案です。

- 議案第10号 専決処分の承認を求めることについて

(埼玉縣市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について)

- 議案第11号 北本地区衛生組合個人情報保護条例の一部改正について
- 議案第12号 北本地区衛生組合情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について
- 議案第13号 北本地区衛生組合職員定数条例の一部改正について
- 議案第14号 北本地区衛生組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

以上、上程されました5議案は、慎重審議の結果、原案のとおり承認、可決されました。

○防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

意見書概略: 国の防災基本計画には、2005年に「女性の参画・男女双方の視点」が初めて盛り込まれ、2008年には「政策決定過程における女性の参加」が明記されました。この流れを受け、地域防災計画にも女性の参画・男女双方視点が取り入れられつつありますが、具体的な施策にまで反映されているとは必ずしも言えません。

中央防災会議の「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」が、平成23年9月28日にとりまとめた報告においても、防災会議へ女性委員を積極的に登用し、これまで反映が不十分であった女性の視点を取り入れることへの配慮が盛り込まれています。

よって、政府におかれましては、防災会議に女性の視点を反映させるため、以下の項目について速やかに実施するよう強く要望します。

- 一、中央防災会議に少なくとも3割以上の女性委員を登用すること。
- 一、地方防災会議へ女性委員を積極的に登用するため、都道府県知事や市区町村の長の裁量により、地方防災会議に有識者枠を設けることを可能とする災害対策基本法の改正を速やかに行うこと。

意見書提出先＝内閣総理大臣、総務大臣、防災担当大臣、男女共同参画担当大臣

視察研修報告

総務建設常任委員会

小林 周三 委員長

B級グルメの広報活動

視察日 平成23年10月25日(火)
視察先 静岡県裾野市

吉見町のB級グルメである「あぶら味噌」による地域活性化の研究のため、B級ご当地グルメの祭典において、上位に入賞された静岡県裾野市で「すその水ギョーザ」の広報活動方法と行政の支援体制を視察いたしました。（「あぶら味噌丼」は、平成23年11月26日開催の埼玉B級ご当地グルメ王決定戦で10位に入賞いたしました。）

また、町では西吉見南部土地区画整理事業として、約25ヘクタールの工業団地造成に取り組み中です。大きな工業団地を有し、企業誘致を進める静岡県富士宮市でその取り組みについて研修を実施いたしました。

企業誘致の取り組み

視察日 平成23年10月26日(水)
視察先 静岡県富士宮市

B級グルメで町の活性化を!

「すその水ギョーザ」は、裾野市特産であるモロヘイヤを乾燥粉末にしてギョーザの皮に練り込んだものをスープで食べる水ギョーザで、食感はモチモチしたヘルシーで健康に大変良い食材です。

裾野市が取り組んだきっかけは、市職員研修会の政策研究会から市の特産品のモロヘイヤを組み合わせた食品を開発して街おこしをしたいと提案されました。平成18年度に小規模事業者新事業全国展開支援事業の国庫補助金の採択で800万円を得、商工会事業として「すそのブランド推進委員会」を立ち上げて、その実動部隊として「すそのギョーザ部会」を設置しました。平成19年に全国B級グルメの祭典B1グランプリが富士宮市であり、誘われて出場し4位に入賞しています。地域ブランドの開発から出発した「すその水ギョーザ」は、B1グランプリが身近で開催された運命的な出会いから大きく飛躍いたしました。

今後も各種イベントでPRや販売に努め、全国に「裾野市」の知名度を高めることを最大の目的に地域経済の向上に貢献できるよう努めていくとのことであります。



裾野市の視察の様子

アクセスが良く、自然環境と調和した工業団地造成

富士宮市の環境共生型の富士山南陵工業団地は、東名高速道路富士ICから20分と非常にアクセスの良い場所で周辺に民家も少なく将来も安心して操業・経営ができる環境にあります。総開発面積は約47ヘクタールで、平成23年3月に造成済で13区画の販売を行っております。現在1区画を地元企業が購入し工場の操業を行っております。

企業誘致は過去に静岡県東京事務所に職員を派遣し、市内の2つの工業団地への企業誘致を図り完了した経緯から平成23年4月から静岡県東京事務所に職員を派遣し、情報収集を行っております。PR活動については、地元を知ってもらうことを前提として、高速道路の各インターへのアクセスや自然環境との調和などをPRしています。他候補地との優位性を図るため、富士山世界文化遺産登録、交通網、防災対策、湧水などのことを輸送機械関連や化学工業・医療用機器を取り扱う企業にアピールしているとのことであります。



富士山南陵工業団地

視察研修報告

教育福祉常任委員会

安孫子和子 委員長

学力向上への取り組み

視察日 平成23年11月7日(月)
 視察先 長野県長野市立篠ノ井東中学校

町では、「学びと絆を深める人づくり」を基本理念に、確かな学力と質の高い学校教育を目指していますが、更なる学力向上に資するため、「無言清掃」を通じ、規範意識の醸成と学力向上に取り組んでいます。長野市立篠ノ井東中学校を視察いたしました。

また、町民の健康づくりの参考とするため、地域の特性をいかして、「だれもが長寿を願うアンチエイジングの里づくり」を進める長野県上高井郡高山村の保健補導員の活動や各種検診の受診率向上に向けた取り組みを視察いたしました。

特定健診等の受診率向上へ

視察日 平成23年11月8日(火)
 視察先 長野県高山村

信頼関係が学力向上の源!

篠ノ井東中学校は、平成19年から「無言清掃」を始めました。始めるにあたっては、「無言清掃」は、一人になって自分自身と向き合う時間と位置づけ、自分と向き合い、自分で判断できる自分、自分をコントロールできる自分を目指し、個の確立を図ることと定め、教職員の共通認識を図り、教職員が率先垂範・師弟同行することを誓い合ったそうです。

このような取り組みの結果、生徒たちとの信頼関係が築き上げられ、「無言清掃」を通して規範意識が高まり、落ち着いた学校雰囲気、授業規律が生み出され、前向きに授業に取り組むことができるようになったことにより学力向上への筋道ができたとのことでした。生徒たちは1分間の黙想の後、黙々と15分間の清掃を始めました。トイレ清掃は素手でスポンジたわしを持ち、手際良く便器を磨き上げており、声をかけると小さな声で「初めはいやだったけれど、一生懸命やればやるほどきれいになるので気持ち良いです」とのことでした。生徒の潜在能力を再認識するとともに、教師、生徒、保護者の信頼関係が学力向上の源であると感じた視察でありました。



無言清掃前に1分間の黙想をする篠ノ井東中学校の生徒

保健補導員が村民の健康の守り手!

高山村の保健補導員の任期は2年間で、「地域保健に関する短期大学」ととらえ、生活習慣病予防や母子保健などの学習、健康教室への参加、村の保健福祉事業への協力、区長会などの団体との連絡協調、地区内の健康上の問題点の発見など多岐にわたる保健活動に取り組んでいます。特に、地区の区長と保健補導員で企画するアンチエイジングの里づくり推進事業や健康づくり地区講習会の開催、各種検診通知の配布や申し込みの取りまとめなども担当し、保健師と住民の橋渡し役として活躍しています。

平成22年度の特定健診受診率については、吉見町では27.4%(埼玉県平均32.6%)、各種がん検診の受診率は、国の目標50%を大きく下回っている中、高山村の特定健診受診率は64.3%であります。

また、高山村では、地域の公共施設6会場での検診実施に加え、夏と秋の実施、さらに夜間、休日の実施等により受診しやすい機会の提供も行っています。

吉見町においても、受診率向上に向けた、よりきめ細かな取り組みを検討する必要があると感じた視察でありました。



長野県高山村

議 会 日 誌

月 日	件 名
H23.9.6	第33回吉見町老人クラブ連合会 ゲートボール大会
10	平成23年度吉見中学校校体育祭
11	吉見町立保育園合同運動会
17	平成23年度町内各小学校運動会
19	第61回吉見町敬老会
19	吉見町商工会会員研修会
22	平成23年度吉見中学校学校祭
22	埼玉県議会主催「議員政策研修会」
24	よしみ幼稚園運動会
28	議会だより編集委員会
29	よしみけやき保育所・子育て支援センター落成式
10.2	第55回吉見町民体育祭
7	議会だより編集委員会
8	(仮)吉見町あぶら味噌研究会設立発起人会 及び設立総会
14	平成23年度町村議会議員研修会
15	第11回よしみコスモスマつり開会式
17	第63回埼玉県科学教育振興展覧会比企地区展 表彰式
18	議会だより編集委員会
19	第17回東松山警察署管内地域安全大会並びに 東松山地区暴力排除推進大会
19	第17回東松山警察署管内地域安全大会並びに 東松山地区暴力排除推進大会意見交換会

月 日	件 名
10.22	第30回東松山警察署管内少年剣道大会
24	八ッ場ダム建設推進埼玉大会
25～26	総務建設常任委員会視察研修
27～28	平成23年度吉見町農業委員会県外研修
11.1	大串土地改良区解散総会
1	議会運営委員会
1	比企郡町村議会議長会議議長会議
3	第40回吉見町文化祭
3	吉見町商工祭
3	第26回吉見音頭(踊)発表会
7～8	教育福祉常任委員会視察研修
12	北本市「市制施行40周年記念式典」
13	吉見消防団消防特別点検
13	吉見消防団消防特別点検に伴う懇親会
16	比企郡町村議会議長会議議長会議
16	第55回町村議会議長全国大会
19	平成23年度吉見農業祭
21	大里比企広域農道整備事業推進協議会 平成23年度先進地視察
22	議会運営委員会
25	吉見町戦没者追悼式
29	九十九川水門竣工式

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 昨年は東日本大震災、福島原発の事故、台風による紀伊半島の豪雨などの大きな災害が発生し、
 多くの尊い命と財産が失われ、心の痛む忘れることのできない年でありました。今後とも、一日も早い
 復興を願うものであります。
 皆様にとりまして、本年が良い年でありますよう祈念申し上げます。
 今年も議会だより編集委員会では、町民の皆様にご覧いただける議会だよりづくりに努めてま
 いらしますので、よろしく願い申し上げます。

議会だより編集委員会
 委員長 内野正美
 副委員長 伊与田隆
 委員 宮崎善雄
 委員 杉田しのぶ
 委員 宮崎雄一
 委員 荻野勇